

通学区域に工業地域等を含む義務教育施設の状況等について

(令和 6 年度)

1 はじめに

市川市は、工業地域等における大型マンション等建築事業の施行が当該工業地域等の環境を大きく変化させるとともに、新たな行政需要を生じさせることから、事業区域に居住することとなる住民の良好な居住環境の形成及び事業区域周辺の環境との調和を図ることを目的として、市川市工業地域等における大型マンション等建築事業の施行に係る事前協議の手続等の特例に関する条例（以下「条例」といいます。）を定めています。

この条例においては、「市長は、義務教育施設への児童等の受入れが困難であると認めるときは、大型マンション等建築事業の計画の変更、延期又は中止を勧告することができる」こととされています（条例第 6 条第 2 項）。

これを踏まえ、あらかじめ、工業地域等における大型マンション等建築事業の施行を予定されている方に通学区域に工業地域等を含む義務教育施設の状況等をご理解いただくため、これを公表するものです。

2 通学区域に工業地域等を含む義務教育施設

通学区域に工業地域等を含む義務教育施設は、別紙 1 のとおりです。

3 通学区域に工業地域等を含む義務教育施設の状況

通学区域に工業地域等を含む義務教育施設の状況は、別紙 2 のとおりです。

別紙 1

通学区域に工業地域等を含む義務教育施設

工業地域等	小学校等	中学校等
市川南地区工業地域		
市川南 2 丁目 1 ～ 4 番及び 9 番 新田 4 丁目	宮田小学校	大洲中学校
上記以外	大洲小学校	
平田・南八幡地区準工業地域	平田小学校	第八中学校
東大和田地区工業地域	稲荷木小学校	第八中学校
鬼高地区工業地域	鬼高小学校	第六中学校
鬼高・田尻地区工業地域		
鬼高 3 ・ 4 丁目	鬼高小学校	第六中学校
田尻 1 ・ 2 丁目	稲荷木小学校	
田尻 3 ・ 4 丁目	信篤小学校	高谷中学校
原木 1 丁目・二俣 1 丁目地区準工業地域		
原木 1 丁目	信篤小学校	高谷中学校
二俣 1 ・ 2 丁目及び原木 3 丁目	二俣小学校	
原木・二俣地区準工業地域		
原木	信篤小学校	高谷中学校
二俣	二俣小学校	
原木地区工業地域	信篤小学校	高谷中学校
高谷地区準工業地域	信篤小学校	高谷中学校
田尻地区工業地域	信篤小学校	高谷中学校
妙典地区準工業地域	塩焼小学校	妙典中学校
加藤新田地区工業地域	幸小学校	妙典中学校
千鳥町地区工業地域	南新浜小学校	妙典中学校
塩浜地区工業地域	塩浜学園（前期課程）	塩浜学園（後期課程）
島尻・広尾地区工業地域	新井小学校	南行徳中学校

別紙 2

1 宮田小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 434人 16学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳85人、1歳92人、2歳88人、3歳97人、4歳85人、5歳90人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳89.8%、1→2歳97.3%、2→3歳95.2%、3→4歳95.6%、4→5歳97.0%）及び入学率（86.2%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	434	454	438	454	445	443	426
学 級 数	16	17	17	18	17	16	15

(2) 教室数

現在、全教室数は31です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	31	31	31	31	31	31	31
必要教室数 (ア+イ+ウ)	32	33	33	34	33	32	31
ア 普通教室	16	17	17	18	17	16	15
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状において、必要教室数が全教室よりも上回っているため、児童の受入れが困難な状況となっております。

2 平田小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 483人 22学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳120人、1歳122人、2歳113人、3歳111人、4歳112人、5歳83人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳95.6%、1→2歳92.7%、2→3歳93.9%、3→4歳96.7%、4→5歳97.1%）及び入学率（65.9%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	483	455	459	457	462	462	446
学 級 数 (特学5含む)	22	21	22	21	21	21	20

(2) 教室数

現在、全教室数は40です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	40	40	40	40	40	40	40
必要教室数 (ア+イ+ウ)	40	39	40	39	39	39	38
ア 普通教室	24	23	24	23	23	23	22
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超える見込みはありませんが、空き教室は確保できない状況が続きます。大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

3 鬼高小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 837人 29学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳122人、1歳115人、2歳131人、3歳117人、4歳115人、5歳150人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳95.0%、1→2歳94.8%、2→3歳97.5%、3→4歳95.2%、4→5歳97.3%）及び入学率（94.0%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	837	858	810	768	739	693	655
学 級 数	29	30	29	27	26	24	23

(2) 教室数

現在、全教室数は51です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	51	51	51	51	51	51	51
必要教室数 (ア+イ+ウ)	51	52	51	49	48	46	45
ア 普通教室	32	33	32	30	29	27	26
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

令和7年度に、必要教室数が全教室数を超える見込みとなっております。令和8年度以降は、必要教室数が全教室数を超える見込みはありませんが、空き教室は確保できない状況が続きます。大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

4 信篤小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 845人 29学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳126人、1歳133人、2歳122人、3歳126人、4歳118人、5歳117人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳90.3%、1→2歳93.9%、2→3歳93.2%、3→4歳97.2%、4→5歳97.8%）及び入学率（109.7%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	845	862	877	866	833	818	762
学 級 数 (特学3含む)	29	30	30	29	28	28	27

(2) 教室数

現在、全教室数は44です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	44	44	44	44	44	44	44
必要教室数 (ア+イ+ウ)	46	47	47	46	45	45	44
ア 普通教室	29	30	30	29	28	28	27
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数よりも上回っているため、児童の受入れが困難な状況になっております。

5 稲荷木小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 455人 16学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳99人、1歳130人、2歳140人、3歳126人、4歳92人、5歳126人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳100.3%、1→2歳102.4%、2→3歳96.0%、3→4歳97.1%、4→5歳96.7%）及び入学率（76.4%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	455	501	501	507	523	520	520
学 級 数	16	17	17	17	17	17	17

(2) 教室数

現在、全教室数は34です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	34	34	34	34	34	34	34
必要教室数 (ア+イ+ウ)	34	35	35	35	35	35	35
ア 普通教室	18	19	19	19	19	19	19
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

令和7年度より、必要教室数が全教室よりも上回るため、児童の受入れが困難な状況になります。

6 二俣小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 157人 9学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳54人、1歳57人、2歳67人、3歳47人、4歳44人、5歳47人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳89.3%、1→2歳89.9%、2→3歳92.7%、3→4歳95.3%、4→5歳95.8%）及び入学率（35.3%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとするとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	157	145	119	116	110	107	111
学 級 数 (特学2含む)	9	9	8	8	8	8	8

(2) 教室数

現在、全教室数は25です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	25	25	25	25	25	25	25
必要教室数 (ア+イ+ウ)	25	25	24	24	24	24	24
ア 普通教室	10	10	9	9	9	9	9
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	5	5	5	5	5	5	5

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

7 大洲小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 527人 18学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳74人、1歳93人、2歳83人、3歳92人、4歳93人、5歳103人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳96.0%、1→2歳95.1%、2→3歳90.8%、3→4歳99.7%、4→5歳92.5%）及び入学率（94.7%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、児童数及び学級数は、令和6年度527人18学級、令和7年度535人18学級、令和8年度536人18学級、令和9年度529人18学級、令和10年度500人17学級、令和11年度490人17学級、令和12年度459人16学級と推計されます。

これに、他の条例適用事業に係る計画戸数に出現率（0歳5.2%、1歳8.4%、2歳7.6%、3歳6.2%、4歳5.3%、5歳5.7%、6歳4.3%、7歳2.9%、8歳1.7%、9歳2.1%、10歳0.7%、11歳0.4%）を乗じて得た数の児童数を加えて児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	527	535	609	630	625	636	635
学 級 数	18	18	20	21	21	22	22

(2) 教室数

現在、全教室数は34です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	34	34	34	34	34	34	34
必要教室数 (ア+イ+ウ)	34	34	36	37	37	38	38
ア 普通教室	18	18	20	21	21	22	22
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

京葉ガス市川工場跡地 大型マンション建設に伴い、令和8年度より必要教室数が全教室数よりも上回るため受入れ困難な状況となります。新校舎を建設し、不足教室については対応いたします。

8 幸小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 715人 23学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳102人、1歳88人、2歳138人、3歳109人、4歳123人、5歳117人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳102.1％、1→2歳97.6％、2→3歳100.8％、3→4歳98.0％、4→5歳98.8％）及び入学率（75.1％）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとするとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	715	684	653	598	586	531	503
学 級 数	23	22	21	20	19	17	17

(2) 教室数

現在、全教室数は41です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	41	41	41	41	41	41	41
必要教室数 (ア+イ+ウ)	41	40	39	38	37	35	35
ア 普通教室	24	23	22	21	20	18	18
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

9 新井小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 673人 25学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳85人、1歳96人、2歳99人、3歳97人、4歳96人、5歳102人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳97.3%、1→2歳101.0%、2→3歳101.4%、3→4歳102.8%、4→5歳100.7%）及び入学率（103.7%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとするとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	673	657	650	631	648	647	634
学 級 数 (特学2含む)	25	25	24	23	24	24	23

(2) 教室数

現在、全教室数は44です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	44	44	44	44	44	44	44
必要教室数 (ア+イ+ウ)	44	44	43	42	43	43	42
ア 普通教室	27	27	26	25	26	26	25
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超える見込みはありませんが、空き教室は確保できない状況が続きます。大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

10 南新浜小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 573人 19学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳66人、1歳82人、2歳86人、3歳72人、4歳88人、5歳99人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳104.5%、1→2歳95.9%、2→3歳97.4%、3→4歳100.3%、4→98.1%）及び入学率（90.7%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	573	546	544	519	505	475	442
学 級 数	19	18	18	17	17	16	15

(2) 教室数

現在、全教室数は36です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	36	36	36	36	36	36	36
必要教室数 (ア+イ+ウ)	36	35	35	34	34	33	32
ア 普通教室	19	18	18	17	17	16	15
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

11 塩焼小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 800人 28学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳172人、1歳151人、2歳156人、3歳128人、4歳148人、5歳145人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳96.6%、1→2歳92.9%、2→3歳93.4%、3→4歳97.0%、4→5歳92.7%）及び入学率（87.3%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	800	803	788	756	741	730	718
学 級 数 (特学4含む)	28	28	28	27	27	26	26

(2) 教室数

現在、全教室数は49です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	49	49	49	49	49	49	49
必要教室数 (ア+イ+ウ)	49	49	49	48	48	47	47
ア 普通教室	30	30	30	29	29	28	28
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超える見込みはありませんが、空き教室は確保できない状況が続きます。大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

12 塩浜学園(前期課程)

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 189人 8学級 (令和6年5月1日現在)

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳13人、1歳19人、2歳23人、3歳17人、4歳36人、5歳21人となっています(令和6年5月1日現在)。

これらの児童が、年齢間変化率(0→1歳117.6%、1→2歳96.2%、2→3歳96.4%、3→4歳90.2%、4→5歳93.4%及び入学率(132.9%)を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
児 童 数	189	188	205	187	184	168	164
学 級 数	8	8	9	8	8	7	7

(2) 教室数

現在、全教室数は26です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	26	26	26	26	26	26	26
必要教室数 (ア+イ+ウ)	26	26	27	26	26	25	25
ア 普通教室	10	10	11	10	10	9	9
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

令和8年度に、必要教室数が全教室数を超える見込みとなっております。令和9年度以降は、必要教室数が全教室数を超える見込みはありませんが、空き教室は確保できない状況が続きます。大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

13 第六中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 568人 17学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳218人、7歳251人、8歳231人、9歳207人、10歳217人、11歳180人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの生徒が、年齢間変化率（6→7歳98.2%、7→8歳98.2%、8→9歳100.5%、9→10歳99.5%、10→11歳99.2%）及び入学率

（90.0%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
生 徒 数	568	554	537	542	588	616	622
学 級 数	17	16	16	17	17	18	18

(2) 教室数

現在、全教室数は37です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	37	37	37	37	37	37	37
必要教室数 (ア+イ+ウ)	37	36	36	37	37	38	38
ア 普通教室	17	16	16	17	17	18	18
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	9	9	9	9	9	9	9

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

令和11年度より、必要教室数が全教室数よりも上回るため、生徒の受入れが困難な状況になります。

14 第八中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 617人 22学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳256人、7歳268人、8歳282人、9歳299人、10歳255人、11歳262人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの生徒が、年齢間変化率（6→7歳98.4%、7→8歳98.7%、8→9歳100.6%、9→10歳99.1%、10→11歳101.1%）及び入学率（81.9%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、次の表1のとおりになります。

【表1】生徒数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
生 徒 数	617	643	664	717	737	745	705
学 級 数 (特学6含む)	22	25	25	26	26	27	25

(2) 教室数

現在、全教室数は41です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	41	41	41	41	41	41	41
必要教室数 (ア+イ+ウ)	41	44	44	45	45	46	44
ア 普通教室	22	25	25	26	26	27	25
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

令和7年度より、必要教室数が全教室数よりも上回るため、生徒の受入れが困難な状況になります。

15 高谷中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 393人 13学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳183人、7歳171人、8歳195人、9歳186人、10歳179人、11歳160人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの生徒が、年齢間変化率（6→7歳100.7%、7→8歳99.1%、8→9歳99.8%、9→10歳100.8%、10→11歳101.0%）及び入学率（70.7%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、次の表1のとおりになります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
生 徒 数	393	365	370	380	407	403	401
学 級 数 (特学1含む)	13	13	12	12	14	13	13

(2) 教室数

現在、全教室数は33です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	33	33	33	33	33	33	33
必要教室数 (ア+イ+ウ)	33	33	32	32	34	33	33
ア 普通教室	14	14	13	13	15	14	14
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

令和10年度に、必要教室数が全教室数を超える見込みとなっております。令和11年度以降は、必要教室数が全教室数を超える見込みはありませんが、空き教室は確保できない状況が続きます。大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

16 大洲中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 418人 16学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳216人、7歳201人、8歳236人、9歳215人、10歳233人、11歳203人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（6→7歳98.4%、7→8歳99.0%、8→9歳100.3%、9→10歳99.2%、10→11歳100.0%）及び入学率

（63.8%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、生徒数及び学級数は、令和6年度412人13学級、令和7年度401人12学級、令和8年度423人13学級、令和9年度416人12学級、令和10年度437人13学級、令和11年度415人12学級、令和12年度413人12学級と推計されます。

これに、他の条例適用事業に係る計画戸数に出現率（6歳4.3%、7歳2.9%、8歳1.7%、9歳2.1%、10歳0.7%、11歳0.4%、12歳1.1%、13歳1.4%、14歳0.4%）を乗じて得た数の生徒数を加えて生徒数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
生 徒 数	418	407	448	440	456	437	442
学 級 数 (夜間3含む)	16	15	16	16	17	16	17

(2) 教室数

現在、全教室数は38です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	38	38	38	38	38	38	38
必要教室数 (ア+イ+ウ)	38	37	38	38	39	38	39
ア 普通教室	19	18	19	19	20	19	20
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

京葉ガス市川工場跡地 大型マンション建設に伴い、令和10年度より必要教室数が全教室数よりも上回るため受入れ困難な状況となります。

7 塩浜学園(後期課程)

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 217人 9学級 (令和6年5月1日現在)

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳67人、7歳88人、8歳81人、9歳92人、10歳93人、11歳79人となっています(令和6年5月1日現在)。

これらの生徒が、年齢間変化率(6→7歳98.0%、7→8歳105.9%、8→9歳101.5%、9→10歳95.6%、10→11歳98.7%)及び入学率

(104.3%)を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする
と、次の表1のとおりになります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
生 徒 数	217	227	248	270	270	269	250
学 級 数	9	7	8	9	9	9	9

(2) 教室数

現在、全教室数は25です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	25	25	25	25	25	25	25
必要教室数 (ア+イ+ウ)	25	23	24	25	25	25	25
ア 普通教室	9	7	8	9	9	9	9
イ 特別教室	9	9	9	9	9	9	9
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超える見込みはありませんが、空き教室は確保できない状況が続きます。大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

18 南行徳中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 605人 19学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳210人、7歳234人、8歳235人、9歳280人、10歳214人、11歳236人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（6→7歳100.3%、7→8歳98.4%、8→9歳99.2%、9→10歳99.9%、10→11歳100.4%）及び入学率（76.4%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして生徒数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
生 徒 数	605	576	528	575	574	586	529
学 級 数 (特学2含む)	19	19	17	19	19	19	17

(2) 教室数

現在、全教室数は40です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	40	40	40	40	40	40	40
必要教室数 (ア+イ+ウ)	39	39	37	39	39	39	37
ア 普通教室	20	20	18	20	20	20	18
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、生徒の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、生徒の受入れが困難となることも想定されます。

19 妙典中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 873人 27学級（令和6年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳315人、7歳304人、8歳323人、9歳350人、10歳337人、11歳312人となっています（令和6年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（6→7歳97.8%、7→8歳98.4%、8→9歳98.6%、9→10歳98.8%、10→11歳99.7%）及び入学率

（91.1%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして生徒数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
生 徒 数	873	847	873	922	925	885	842
学 級 数 (特学2含む)	27	26	26	28	29	27	26

(2) 教室数

現在、全教室数は52です。また、令和12年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
全教室数	52	52	52	52	52	52	52
必要教室数 (ア+イ+ウ)	52	51	51	53	54	52	51
ア 普通教室	28	27	27	29	30	28	27
イ 特別教室	14	14	14	14	14	14	14
ウ 学校教育施策教室	10	10	10	10	10	10	10

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

令和9年度より、必要教室数が全教室数よりも上回るため、生徒の受入れが困難な状況になります。